

聖籠町行財政改革大綱に係る効果検証の まとめについて

- (1) 行財政改革に伴う見直し結果の一覧
- (2) 行財政改革の効果検証に対する主な意見

(1) 行財政改革に伴う見直し結果の一覧

分野	名称	見直しの結果	見直し効果額(千円) 【R4ベース】	
総務・生活環境	循環バス事業	R2.10 運行体系の見直し	12,235	183,506
	生ごみたい肥化事業	H31.3 事業の廃止	47,078	
	ふるさと納税促進事業	魅力的な返礼品の開拓、寄附金使途の充実等	107,487	
	その他	人事評価制度運用の見直し等	16,706	
教育・子育て	子育てシステム再編	R4.4 町立幼稚園縮小、私立認定こども園開設	60,570	106,307
	学校情報機器ネットワーク事業	ネットワーク環境等の統合	37,100	
	その他	スポアイランド聖籠 維持管理内容の見直し等	8,637	
農業・産業観光	水田農業確立補助金	R3.3 事業の廃止	30,000	56,447
	企業立地促進事業	R2.9 立地奨励金等の拡充	11,592	
	その他	聖籠夏まつり・マリンフェスタの統合等	14,855	
福祉	高齢者フレイル対策事業	受益者負担の見直し等	2,230	5,084
	その他	長寿祝金の減額等	2,854	
公共事業	都市公園等年間維持管理事業	臨海西公園の廃止、維持管理内容の見直し	7,833	20,749
	環境美化事業	NPO法人の解散、ボランティア活動の促進	12,430	
	その他	安全確保のための樹木伐倒等	486	
合 計			372,093	

(2) 行財政改革の効果検証に対する主な意見

名 称	意 見
集会用施設建設費補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は、集落の負担も増えることになるので、利用状況を把握することにより、地域にとっての重要性や必要性も測ることができ、それが住民負担への理解につながると思う。集落に負担にならない程度で、利用状況の把握を行っていただきたい。
地域振興支援事業補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズがなく他事業でカバーできるのであれば、廃止してもいいのではないかと思う。一方で新しいニーズがあり、他でカバーできないようであれば、それに対応した支援策を作ればいいのではないか。 ・ この分野の新しい住民のニーズに対応するという形にすれば、廃止の印象が緩和されると思うので、そこは検討をしていただきたい。
可燃・不燃ごみの無償回収・処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ袋の有料化は、今後も検討が必要ではないか。 ・ ごみ袋の無料配布は、町のメリットである。
児童・生徒の送迎 (冬季通学バス運行事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の送迎に対する要望があるので、PTAとしても議論し、要望してはどうか。
農産物販売促進事業 (地場物産(株)への助成)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設については、廃止も含めて施設をどのように活用していくのかというのが検討されると思うが、この会議でも出てくる限られた経営資源ヒト・モノ・カネの活用として、町の所有物をどう魅力的なモノに変えていくのかを考えて、人を呼び込んでいくという方向性がいいのではないか。地場物産館だけでなく、町の施設全てをそのような方向で考えていくのが、経営戦略推進プランなのではないかと考えている。

(2) 行財政改革の効果検証に対する主な意見

名 称	意 見
ボランティア体制の構築（緊急通報装置設置事業）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員など専門的な方とのつながりをもっと深めた方が動きやすいのではないかと思います。様々な組織がどういう役割を持って連携していくのかを早く構築していかないと、超高齢社会に対応できないのではないかと。 ・ ボランティアは、活用するものではなく協働するもの。活用というと「上から目線」となりがちなので、町と地域と、誰が何をやるといった役割分担を整理する必要がある。 ・ 様々な支援策を講じて意識が向いていけばいいという他動的な印象を受けるが、急速に超高齢社会が進展していく中、早急に体制を構築する必要があるのではないかと。
おむつ等給付事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ おむつは経済的にも負担であり、見直さなくてもいいのではないかと。 ・ 近隣市町村と同じような並びで検討するというよりは、町の福祉、町として何が必要かを検討すべきである。 ・ 優位性を確保するとしても、その根拠と理由を明らかにするため、近隣の動きは把握しておくべきである。
高齢者フレイル対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ もっと積極的な事業展開はできないか。健康指導教室など様々なフレイル対策を行っているが、そこに行けない方をどうするかが重要である。
高齢者福祉の見直しについて （その他の意見）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行財政改革大綱では高齢者福祉の部分をより厳しく削るメッセージが色濃く出ていた印象を受けたが、財源があってこそその事業だと思うので、応分の負担なり所得状況に応じた見直しという方向性が正しいと思う。 ・ 高齢の方も若い方も皆が納得する形で着地するような検討を期待する。将来の町の財政は厳しく、やれるものと我慢しなければならないものもあると思うので、その中で良い取組も周知しながら進めていけばいいのではないかと。
定員管理・組織再編	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織再編は、組織に政策を合わせるのではなく、環境に組織を合わせるという考え方が重要で、適宜時節に合った配置分合、再編が必要。組織の再編はまさに時宜を得て適切に行っていただきたい。